



DNW-25010 の概要

課題名 : 新規腎心連関疾患治療薬としての転写因子 **c-Maf** 阻害剤の可能性
検証

主任研究者 (Principal Investigator) :
藤野 三法 (国立大学法人筑波大学医学医療系)

ステージ: 検証ステージ I

【標的疾患】

慢性腎臓病 (CKD)

【創薬標的】

転写因子 **c-Maf**

【創薬コンセプト】

c-Maf 阻害が、グルコース輸送体 (SGLT2、GLUT2) 及びリン輸送体 (Npt2a、Npt2c) を含めた各種トランスポーターの発現制御、酸化ストレス抑制 (NOX4) 等の複数の作用点を阻害することにより、SGLT2 阻害剤以上に腎心疾患を保護・改善する。

【モダリティの設定】

低分子化合物

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

1) 実験マウスにおける標的遺伝子 **c-Maf** の全身欠損は、糖尿病、糖尿病性腎症及び慢性腎臓病に併発する心疾患を改善することを示唆するデータを得ている。

【科学的、技術的な優位性】

・伝統的なモデルマウスの課題を解決した、ヒト患者の発症に類似した独自の心肥大、心線維化モデルマウスを作製し、所有している。

【支援ステージにおける目標】

- ・ SGLT2 阻害剤に対する **c-Maf** 欠損の優位性を確認できている。
- ・ **c-Maf** 欠損マウスで認められる表現系の *in vitro* 評価系構築の目処が立っている。

【関連特許】

なし

テーマに関するお問い合わせは下記までお寄せください。

Principal investigator へのお問い合わせはご遠慮くださるようお願いいたします。

(問合せ先)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬事業部

E-mail : id3desk@amed.go.jp